

破天荒な開拓者

○：海老名市をはじめと 体制づくりを目指す。海老 壊の危機にあるとされる地 した周辺地域の医療実情を 名総合病院の名誉院長であ 域医療を守るため自ら先頭 市民や行政に知ってもらい、 り、4月から海老名市医師 会に立ち舵を取る。また来る さらなる質の高い医療の提 会の会長に就任した。絶対 べき法改正に伴う公益法人 供と、救急を円滑運営する 的なマンパワー不足から崩 改革にも着手していく。

人物風土記



●海老名市医師会会長に就任した

田中昭太郎さん

70歳

○：医療に携わること 救急医療を開拓すべく新天 決めた高校3年。当時の日 地へ舞い降りた。 本の平均寿命が50歳代。こ ○：破天荒な性格は他を れから医療はもつと必要に 巻き込んで常に道を切り開 なると感じていた。敗戦か いてきた。大学へ入学する ら10数年、復興を果たした とすぐ写真部へ。しかし部 日本の中で多感な青年は とは名ばかりで機材はもち 「世界の中の日本」をイメー るん部屋もなかった。そこ ジしていた。やがて海老名 で大学の理事長宛てに巻紙 総合病院などを運営する社 に毛筆の手紙を送り、医大 会医療法人ジャパンメディ の入学金が20万円ほどの当 カルアライアンスの前身と 時で100万円の活動補助 なる「仁愛会」を埼玉県内 費の拠出に成功した。「なぜ で同級生4人で立ち上げ ができるかと思っていた。諦 た。人を慈しむ「仁愛」の めないことが大事だね」 精神のもと、青年医師たち ○：「保険証1枚でいつ はひたすら医療の発展のた でもどこでも同じ医療が受 めに突き進んだ。その後、 けられるのは日本だけ。こ 当時の佐藤海老名市長から の医療制度が破綻しないよ 「海老名に救急医療を」と うに、必要なことは何でも 白羽の矢が立ち、市の勧誘 する覚悟です」。今の海老 名に伝える形で海老名へ。当 名が、日本の医療が抱える 時の海老名はまだ救急が十 ささまざまな危機を乗り越え 分でなかったため「力にな るまで開拓者はまだまだ現 りたい」と決意。海老名に 役で走り続ける。